

# \* \* イ カ ナ ゴ 情 報 No. 1 \* \*

## — 島牧の漁期前調査結果 —

中央水産試験場  
後志南部地区水産技術普及指導所

### 調査の概要

2010年4月17日午後6～9時に、西島牧海域においてコウナゴ分布調査を実施しました。白糸岬沖から江ノ島沖にかけての5地点で、集魚灯を用い、たも網でコウナゴ採集を行いました。調査結果に基づく、コウナゴの成長状態に関する情報をお知らせします。

なお、調査には、第八喜久丸中山雄一さん、島牧漁協及び島牧村役場の方々にご協力いただきました。調査にご協力いただいた関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

### 採集物の主体は平均30mm群と23mm群、3群目の加入は来週末頃

先週前半のシケの影響で調査ができませんでしたが、17日土曜日になってようやく実施することができました。しかし、海にはまだたくさんの浮遊物が分散しており、その影響もあってか、例年と比べ採集尾数はかなり少なくなりました。

右図は、調査で得られた採集物を測定して得られた体長組成です。例年と同じく、体

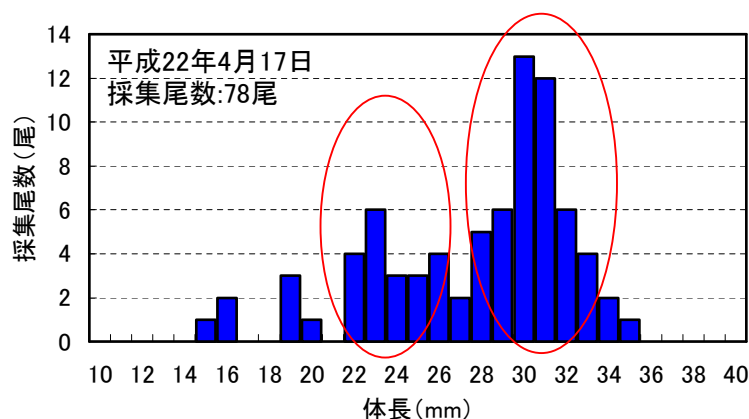


図 調査で得られた標本の体長組成

長組成には、ふ化時期の異なる群で作られた、いくつかの“山”がみられました。体長30mm前後に“山”をつくっているのは、2月末から3月上旬にかけてふ化したとみられる1群目で、例年の盛漁期（5月中頃）に、40mm前後の大型サイズとして漁獲対象となっている群です。20mm台前半の群（2群目：例年はこちらの方が採集尾数は多い）、そして今回はあまり採集されませんが、10mm台後半の群（3群目）が漁獲主体になると、本格的な漁期に入っていく傾向があります。1群目、2群目はすでに漁獲対象サイズに達しています。3群目が22-23mmに達するにはあと4～5mmなので、1日の成長量を0.7mmとしますと、6～7日程度を要することになります。

今年も、漁獲物標本の組成から、漁模様や終漁時期の見通しについても情報発信する予定ですので、ご協力よろしく申し上げます。